

<p>研修名</p>	<p>自殺対策支援者研修「うつ病の早期介入と自殺予防」 ～「メンタルヘルス・ファーストエイド」の理解と活用～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学分野 准教授 加藤 隆弘 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和4年11月22日(火) 14:00～17:00</p>
<p>開催場所</p>	<p>ウェルとばた 2階 多目的ホール</p>
<p>参加者数</p>	<p>34名(職種:保健師、看護師、教員、心理士、社会福祉士、精神保健福祉士など)</p>
<p>研修内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談窓口や機関において相談支援に従事する人に対し、「メンタルヘルス・ファーストエイド(こころの応急処置)」を紹介し、さらに相談支援の現場においてうつ病など心の不調を抱えている人への対応について解説しました。 ・講義形式で「メンタルヘルス・ファーストエイドとは何か」や、うつ病などの疾患について説明したのち、演習形式(ロールプレイ)で「傾聴」や「リスク評価」を体験していただきました。 ・参加された方々はメモを取るなどしながら熱心に耳を傾けており、ニーズの高い研修会であることを改めて実感しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病は誰でもなり得るということを前提に、日々の教育活動を行っていきたいと思います。 ・相談窓口対応や職場内ですぐに活用できそうです。 ・具体的なロールプレイができて、とても参考になりました。 ・メンタルヘルス・ファーストエイドがより多くの人に広まれば良いなと思いました。 ・今まで何となく対応していたけれども、どのように対応すべきか知ることができ、とても良い学びになりました。 ・傾聴の方法を理解できたので、今後職場で活用していきたいです。 ・また加藤先生の研修に参加したいです。